



## 7月17日0時～24時に報告された熱中症患者数

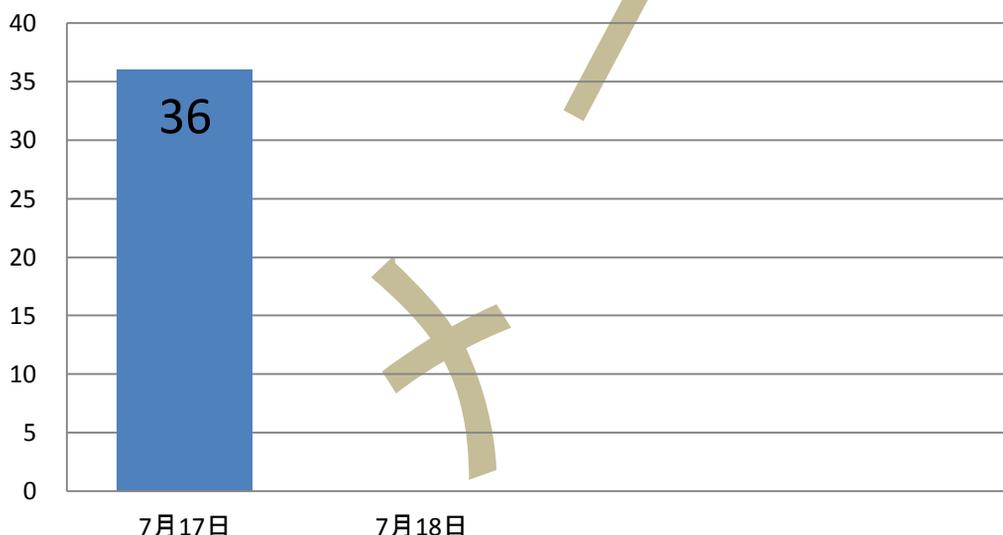
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、厚生労働科学研究費補助金による「効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究」研究班(研究代表者・三宅康史(昭和大学医学部救急医学講座准教授)が、日本救急医学会の協力を得て収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される梅雨明け後の平成24年7月20日～8月15日の間、前日(0時～24時)に報告された患者数等の即時情報を、報告翌日に公表します。(なお、土日曜日は月曜に併せて公表)

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

●研究班では、この夏の即時情報と、10月以降の詳細情報との分析等を通じて、即時情報に基づく注意喚起の実施について研究を行うこととしています。

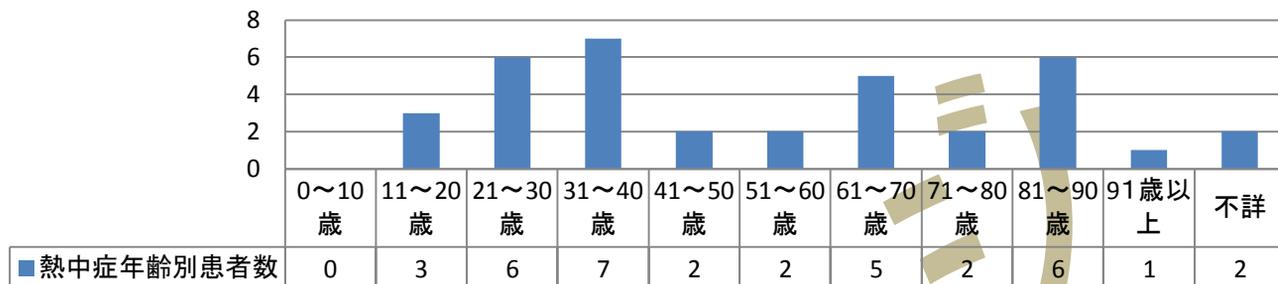
### 報告された熱中症患者数



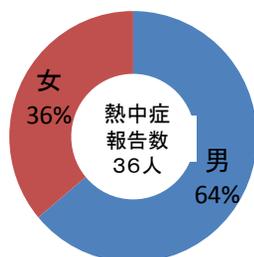
### 都道府県 医療機関所在地別患者数

〇〇県	〇〇人

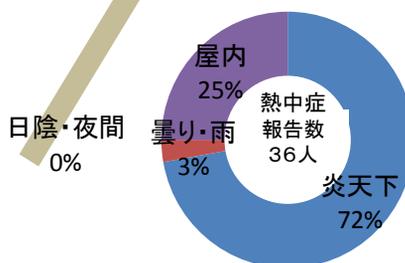
## 年齢別患者数



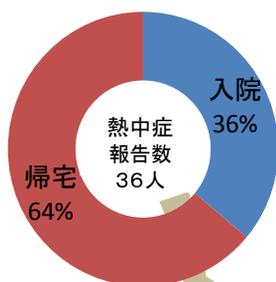
## 男女別(割合)



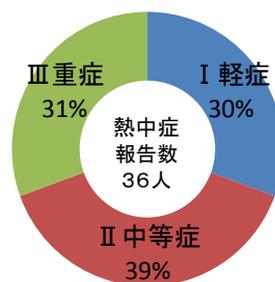
## 発生場所(割合)



## 入院／帰宅(割合)



## 重症度分類(割合)



\* 重症度について：I度は現場にて対応可能な病態、II度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、III度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。